別紙３　工事 EIR 様式

【岩手県立杜陵高等学校給食棟解体工事】EIR

１．目的

本 EIR（発注者情報要件）は、【岩手県立杜陵高等学校給食棟解体工事】における BIM 活用に際して発注者が求める要件を示すことを目的とする。

２．BEP（BIM 実行計画書）の提出等

（１）受注者は、BIM 活用を行う場合、工事の着手に先立ち、受注者の負担により本 EIR に基づき BEP を作成し、発注者へ提出すること。

（２）BEP には、以下に掲げる項目を記載すること。

①使用する BIM ソフトウェアの種類とバージョン

②発注者への BIM データ（BIM モデルに加え、BIM 上での２次元による加筆も含めた全体の情報をいう。）の提示方法（PC 等の持ち込み、ビューア、クラウド利用等）

③次に掲げる BIM 活用の項目の実施内容等に関する項目

・３.（１）に掲げる推奨項目のうち、受注者が BIM 活用を行うもの

・３.（１）に該当しない項目で、受注者が BIM 活用を行うもの

（３）BEP の書式は、原則として任意とする。参考として様式例を別紙に示す。

（４）受注者は、BEP に記載する内容を変更する必要が生じた場合、必要に応じて履行途中で発注者への説明を行いつつ、設計業務の完了時に変更した BEP を発注者に提出する。

３．BIM 活用の項目及びその実施内容等

（１）受注者は、下表に示す推奨項目について、BIM 活用を行うことができる。（受注者の任意で実施するものとし、このために必要な費用が発生する場合は受注者の負担とする。）

項目	目的	実施内容	実施時期
①施工計画等の検討	施工計画等の検討の効率化、発注者等及び施工関係者の理解の向上	・施工計画、施工手順等の検討を行い、発注者等及び施工関係者へ提示する。	－
②施工図の作成	施工図の効率的な検討、整合性の確保	・BIM データを用いて施工図を作成するとともに、納まり等の検討を行う。	－
③干渉チェック	部材間の干渉の確認の効率化	・干渉チェックが必要となる箇所について、施工段階で作成する各分野の BIM モデルの統合又は重ね合わせによる干渉チェックを行う。	－

<table>
<tr><td>④完成図の作成</td><td>維持管理に向けた資料等の作成</td><td>・設計 BIM データを利用し、施工段階における変更を反映した上で、次に掲げる完成図を作成する。
<table><tr><th>完成図の種類</th></tr><tr><td>配置図、各階平面図、各立面図、断面図及び仕上表</td></tr></table></td><td>－</td></tr>
<tr><td>⑤「建築物等の利用に関する説明書」に用いる図の作成</td><td>維持管理に向けた資料等の作成</td><td>・完成図の作成に用いた BIM データを利用するなどして、「建築物等の利用に関する説明書」に用いる図を作成する。</td><td>－</td></tr>
</table>

（2）受注者は、推奨項目に該当しない項目についても、BIM 活用を行うことができる。（受注者の任意で実施するものとし、このために必要な費用が発生する場合は受注者の負担とする。）

4．成果品として提出する BIM データ等

本業務において BIM データの提出は求めない。

5．データの共有

業務履行途中における BIM データ等の共有は求めない。ただし、ビューア等を用いて、発注者に対する説明内容の説明等をクラウド等の共有環境で行う場合は、発注者と協議する。

6．その他

（1）参考資料

・官庁営繕事業における BIM 活用ガイドライン（平成 26 年３月 19 日付国営施第 15 号）
・官庁営繕事業における BIM 活用実施要領（令和５年３月 23 日付国営施第 28 号）
・建築分野における BIM の標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第２版）（令和４年３月建築 BIM 推進会議）
・施工 BIM のスタイル（令和３年３月 一般社団法人日本建設業連合会）
・施工 BIM の活用ガイド（令和４年 12 月 一般社団法人日本建設業連合会）
・設計 BIM ワークフローガイドライン建築設計三会（第１版）（令和３年 10 月建築設計三会設計 BIM ワークフロー検討会）

別紙

【岩手県立杜陵高等学校給食棟解体工事】BEP

１．使用する BIM ソフトウェアの種類、バージョン

ソフトウェアの種類	ソフトウェアのバージョン	使用範囲・使用内容
○○○○	Version○.○	○○○○

２．発注者への BIM データの提示方法

PC 等の持込み、ビューア、クラウド利用等

３．BIM 活用の項目及びその実施内容等

３-１．EIR ３．（1）に掲げる推奨項目のうち、受注者が BIM 活用を行うもの

項目	実施内容	実施時期
①	（実施箇所、実施方法等を記載）	

３-２．３-１に該当しない項目で、受注者が BIM 活用を行うもの

項目	実施内容	実施時期
①	（実施箇所、実施方法等を記載）	